

● 研究部

1. 高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説、芸術（音楽 美術 工芸 書道）編、平成31年3月1日発行（以下、解説と略）に示された「国語科書写との円滑な接続」の実態について、**第一次調査協力校13校を対象に令和4年度教育課程の資料提供のご依頼とアンケート調査を実施し、運用の実態等を把握し、全日本高等学校書道教育研究会調査部による「全国高等学校芸術科書道教育課程調査」（2022年11月岐阜大会で公開）の追加資料として、会員相互の共有情報として公表準備を進めております。**（2022年5月全国役員会機関決定）
2. **第一次調査対象校は、都内私立中高一貫校13校とし、調査対象校ですすでに開示されている令和4年度教育課程表および中等教育6年間を見通した計画的かつ継続的な教育課程にもとづいた教科目標の資料提供を依頼し、その内容を整理し、開示する予定です。**
またこの第一次調査内容は、**第62回全日本書写書道教育研究会東京大会（11月4日・5日 東京都江戸川区）高等学校報告の際に、報告いたします。**

（解説、p7 抜粋）

第1部 第2節 芸術科改訂の趣旨及び要点

1 芸術科改訂の趣旨

(3) 芸術（書道）

○芸術科（書道）においては、書の文化の継承と創造への関心を一層高めるために、書の文化に関する学習の充実を図るとともに、豊かな情操を養い、感性や想像力を働かせながら考えたり判断するなどの資質・能力の育成等に重点を置いて、その充実を図ってきたところである。

○一方で、書の伝統と文化を踏まえながら、生徒が感性を働かせて、表現と鑑賞の相互関連を図りながら能動的に学習を深めていくことや、書への永続的な愛好心を育むこと等については、更なる充実が求められるところである。

○今回の学習須藤要領の改訂においては、これまでの成果を踏まえ、これらの課題に対応できるよう改善を図っていくことが必要である。

これらの成果と課題を受け、芸術科（書道）における改訂の具体的な方向性については、次のように示されている。

・感性を働かせて、能動的に、表現を構想し工夫したり作品の価値を見いだしたりする学習となるよう、内容の改善を図る。

・国語科書写との円滑な接続を図るとともに、生活や社会の中での文字や書の働き、書の伝統と文化についての理解を深める学習の充実を図る。

・表現と鑑賞の学習に共通に必要な資質・能力を〔共通事項〕として示す。

3. 新学習指導要領に基づく高等学校芸術科書道・授業実践事例の募集について（協力依頼）

2019年岡山大会情報交換会以降、研究部の今後の活動方針として「新学習指導要領に基づく授業

実践事例の共有データベースの作成」の主旨と具体的方法についての協力依頼を行いました。以降継続して授業実践事例を募っております。引き続き実践報告の提供等ご協力をお願いいたします。

新学習指導要領に基づく授業実践例をお寄せください。新学習指導要領の授業実践例の共有データベースを今後作成したいと考えております。

-内容-

- 1 主体的・対話的で深い学びにつながる授業実践。
- 2 文字文化を重視した授業実践
文字文化とは・・・文字そのものの文化、文字を書くことについての文化
- 3 協働学習、アクティブ・ラーニング、課題解決の重視した授業実践
- 4 ICT 活用の授業実践
- 5 教科国語との連携をはかった授業実践
- 6 中学国語科書写からの接続を図る授業実践

【送付先】 メールアドレス atuko@ic.daito.ac.jp
電話 03-5399-7890
学校住所 〒175-8571 東京都板橋区高島平 1-9-1
 大東文化大学第一高等学校
 全日本高等学校書道教育研究会研究部 佐藤 敦子 宛

※指導案は略案でも結構です。

※データでご送付ください。(メールまたはCD-R)

● 調査部

令和4年度全国高等学校書道教育に関する実態調査について

1. 令和4年度の全国高等学校書道教育に関する実態調査について例年通り実施いたしました。調査にあたっては、各都道府県事務局・理事の先生方にご協力を賜りましたこと深く感謝申し上げます。本調査の目的は、高等学校における書道教育の実態や教育課程の展開、各都道府県における書道教員採用試験の実施状況、学校設定科目の状況の資料をもとに、今後の高等学校芸術科書道における教育課程推進のあり方や課題を共有し、それらの課題解決の方向性を共有していくものです。
2. 岐阜大会総会における調査部による「令和4年度全国高等学校書道教育に関する実態調査について」の集計結果は、岐阜大会情報交換会での調査部報告を行い、全日本高等学校書道教育研究会ホームページ上に岐阜大会総会后に公開いたします。
3. 全国調査の集計作業は、埼玉県高等学校書道教育研究会調査委員会により集計・分析・公表データの作成を進めております。
4. 令和4年度全国高等学校書道教育に関する実態調査集計結果は、令和4年度岐阜大会総会におい

て決議される要望書の大会後の文化庁・文科省への提出の際に、「教育課程に基づく高等学校芸術科書道の教科指導の全国研究大会の成果と課題報告」合わせて、全国高等学校書道教育の実態状況として添付・報告し要望事項の根拠としていく予定です。

● 出版部

1. 令和4年度の会報発行について下記の目次構成で発行いたしました。

2021年6月 会報第91号発行

主記事は愛媛大会報告として発行

会長挨拶・愛媛大会会長挨拶

授業研究報告 分科会報告

令和3年度全日本高等学校書道教育研究会総会（代替 書面表決）経緯報告

各専門部報告

第47回岐阜大会第3次案内

第48回茨城大会第1次案内

2. 2022年10月 会報第92号発行

主記事は岐阜大会開催内容とする

● 事業部

1. 後援事業の推進等について

本部事務局と連携し、全日本高等学校書道教育研究会後援事業の運営計画の確認と後援事業推進、全国研究大会計画の推進、全日本高等学校書道教育研究会ホームページの運営を継続実施しました。

令和4年度の各事業でも、本部事務局と渉外部と連携し、全日本高等学校書道教育研究会組織運営への理解・支援・各事業への協賛などの協力を求めていきたいと考えております。

2. 本研究会のWEBサイト運用

特に、会務遂行がリアルタイムでわかるホームページの更新の頻度向上に向けた業務の見直し等についても、現在改善事項を反映できる業務体制で事業のあり方の改善を推し進めております。

後援事業の情報公開では後援事業主催団体との連携の強化を、情報発信力の向上と信憑性が増す体制づくりでは分業のあり方や業務進行の本部事務局の情報共有などを図り、引き続きご協力いただける体制づくりと実務を担ってまいります。引き続きご協力ご支援をいただきますようお願いいたします。

● 渉外部

1. 令和4年度全国協賛について

会計報告のとおり、全日本高等学校書道教育研究会への活動支援・協賛のための渉外を実施し、全国協賛の予算としました。

岐阜大会全国協賛の昨年度比からの増額（協力支援の拡大）と茨城大会への協力支援体制の維持・継続を念頭に、2022年6月から8月にかけての渉外活動を実施しております。

岐阜大会終了後は、協賛いただきました企業・団体・大学様に大会研究集録の送付を行い、協賛の御礼と次年度以降の協力を依頼する予定です。

● 庶務部

1. 令和4年度要望書について

- (1) 令和4年度の全日本高等学校書道教育研究会要望書の起案では、本部役員会及び事務局会議等での協議事項・方針を定め、要望事項に関する過去の各種団体の資料や法令文書の該当事項の確認を行い起案いたしました。

高等学校学習指導要領 平成30年告示 芸術 音楽 美術 工芸（平成30年告示 芸術編）

第2節 芸術科改訂の趣旨及び要点

第1章総則 第2款 教育課程の編成

； 第3款 教育課程の実施と学習評価

第2章 第7節 芸術 第2款 各科目 芸術

文化芸術振興基本法 に関する内容

20180221 学習指導要領 芸術 改訂要点

高等学校学習指導要領新旧比較対照表.pdf

新高等学校学習指導要領書道新旧比較対照表【芸術】

- (2) 起案原案は8月中の本部役員会オンライン会議で起案に向けた意見交換、記載根拠の確認などを行い、校正作業を実施、9月初旬に全国役員会での承認に向けた意見交換・記載根拠の再確認を行い、令和4年度要望書（案）として作成しました。岐阜大会総会での要望書（案）は、昨年度の愛媛大会オンライン大会総会における大会要望書を継承する内容としました。
- (3) 9月28日全国役員会書面表決で承認をいただきました要望書（案）は、岐阜大会における全国総会での提出議案書として報告いたします。全国大会総会での承認手続きにつきまして、ご協力のほどよろしく願いいたします。
- (4) 今後のご質問や要望などは本部役員会での推敲を重ね、各団体への令和4年度要望書として扱っていきたいと考えております。

● 本部事務局・学習指導と評価に関する専門委員会 報告

新学習指導要領準拠 指導事例と学習指導案入力フォーマットを 2021 年 8 月 28 日に全日本高等学校書道教育研究会ホームページで公開いたしました。

<http://zenkoushoken.sun.bindcloud.jp/pg4500875.html>

1 公開情報について

「高等学校新学習指導要領（平成 30 年告示 平成 31 年 3 月 1 日）芸術（音楽 美術 工芸 書道）編解説書」（文部科学省）ならびに「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料（令和 3 年 8 月）高等学校 芸術（書道）（国立教育政策研究所教育課程研究センター）に基づく、学習指導案の作成について

— 指導事例と学習指導案入力フォーマットの公開について —

公開ファイル 1

▶・事例様式 漢字編 pdf

公開ファイル 2

▶・事例様式 鑑賞編 pdf

公開ファイル 3

▶・全日本高等学校書道教育研究会 学習指導案（作成方法の例）「学習指導案 」Word 書式
全高書研 公開用 フォーマット 20220828 .docx

2 作業進捗状況と指導事例及び書式・様式（フォーマット）の公開までの経過報告

- (1) 全日本高等学校書道教育研究会では、2020 年度より、本部役員会組織にあらたに「教育課程に関する専門役員会」を全国役員会及び全国総会で会則に示された手順で検討協議し、この研究検討機関を組織決定し設置いたしました。
機関決定役職名は「教育課程・学習評価に関する専門役員会」です。
- (2) 昨年度の愛媛大会での発表、その後の国立教育政策研究所指定研究などの報告事例を踏まえ、継続してその書式案を検討起案作成し、文部科学省初等中等教育局教育課程科教科調査官豊口和士調査官にご指導ご助言をいただきながら、2022 年 11 月の岐阜大会では学習指導案フォーマット準拠の授業公開となるよう準備を進めてきました。
- (3) 現在、全日本高等学校書道教育研究会では「教育課程・学習評価に関する専門役員会」による定期的なオンライン協議を継続し、岐阜大会授業研究発表のご担当先生と「教育課程・学習評価に関する専門役員会」の先生方との協議に、全日本高等学校書道教育研究会会長・副会長・理事長・岐阜大会運営事務局長・本部事務局が加わり、週 1 回の頻度で 11 月の授業公開に向

けて準備を進めております。

- (4) このたび「高等学校新学習指導要領（平成30年告示 平成31年3月1日）芸術（音楽 美術 工芸 書道）編解説書」（文部科学省）ならびに「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料（令和3年8月）高等学校 芸術（書道）（国立教育政策研究所教育課程研究センター）に基づいた、学習指導案の「指導事例と学習指導案入力フォーマット」についてその書式・様式が整いましたので、全日本高等学校書道教育研究会ホームページで公開いたしました。

3 公開データの活用について

- (1) 指導事例はPDFデータでの公開としました。入力フォームはWordでのダウンロードファイルとなっております。
また、[新学習指導要領に関する資料のまとめページ](#)を全日本高等学校書道教育研究会ホームページに公開しておりますので、あわせて閲覧いただきますようお願いいたします。

4 岐阜大会での書式・様式（フォーマット）準拠の学習指導・指導事例公開予定について

- (1) 第47回全日本高等学校書道教育研究会岐阜大会（東海ブロック開催）〔令和4年11月17日（木）・18日（金）開催予定〕授業研究発表において、表記内容準拠の学習指導事例を発表報告いたします。
ぜひ岐阜大会にご参加いただきますようお願いいたします。

5 公開入力フォーマットの今後の修正について

- (1) 公開入力フォーマットは、8月28日時点での公開サイトページには「現在データのダウンロード検証中」と表記の上公開させていただいております。
今後、全国の先生方による活用の際に、コンテンツのダウンロードの障害の修正や書式やレイアウト等の部分修正など、全日本高等学校書道教育研究会ホームページで随時更新する予定です。